



■ 校長名	中山 吉一
■ 所在地	〒544-0024 大阪市生野区生野3-5-40
■ 電話番号	06-6716-0121（前期課程） 06-6716-3377（後期課程）
■ FAX番号	06-6716-2153
■ HPアドレス	https://swa.city-osaka.ed.jp/weblog/data/j672489/



主な学校行事

【共通】	【前期課程】	【後期課程】
4月 家庭訪問	1年入学式	
5月	1年～5年運動会 遠足	9年修学旅行
6月 プール開き 学習参観	芸術鑑賞(1～5年) 社会見学	8年職業講話
7月 期末懇談	5年林間学習	8年職場体験
8月		
9月	1年～4年学習参観	7年二泊移住
10月 文化発表会(1～9年)	6年体育大会	7～9年体育大会
11月	遠足 学習参観	7年お店バトル
12月 期末懇談 地域合同防災訓練		芸術鑑賞(6～9年)
1月	入学説明会	百人一首大会(7年)
2月	学習発表会	百人一首大会(8年)
3月		9年卒業式



前期課程



後期課程



教育目標

「集団の中で自分の良さを伸ばしていける子を育てる」

豊かな心と健全な身体を育む。基礎的基本的な学力の充実と、基本的な生活習慣の確立を通じて、主体的に学習に取り組み、自律し、協力しあう子を育てる。(自学・自律・思いやり)

重点目標

【学力の向上】【道徳心・社会性の育成】【健康・体力の保持増進】

校訓

「はばたく子 つながる子 切り開く子」

- 自分・学校・まちに誇りを持ち未来にはばたく子
- 思いを伝えあい、助け合い社会とつながる子
- 自ら課題を持ち、あきらめずにチャレンジ未来を切り開く子

令和5年度全国学力・学習状況調査（前期課程）

■ 平均正答率（％）	国語	算数
	65	58

結果概要

国語：全国の平均正答率は67%、大阪市は67%、本校は65%であった。
算数：全国の平均正答率は62%、大阪市は62%、本校は58%であった。

■ 本校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

後期課程教員による高学年への一部教科担任制の導入、習熟度別少人数学習、T・T等を実施しているが、今後も専門的な指導による学力の向上や指導方法の工夫による学習意欲の向上に取り組んでいく。また、学力向上支援チーム事業スクールアドバイザーによる教員の指導力向上に取り組み、日々の授業の充実と授業改善を進める。ブロック予算や区役所事業の活用により、3年生以上で英検Jrや漢字検定等の検定試験にチャレンジし、学習意欲を向上させたい。さらに、9年間を通してのキャリア教育（IKUNO未来科）を進め、生野のまちに誇りをもって社会に羽ばたいていく子どもを育てるべく教育課程を創造する。

令和5年度全国学力・学習状況調査（後期課程）

■ 平均正答率（％）	国語	数学	英語
	68	43	40

結果概要

国語：全国の平均正答率は69%、大阪市は67%、本校は68%であった。
数学：全国の平均正答率は51%、大阪市は49%、本校は43%であった。
英語：全国の平均正答率は40%、大阪市は44%、本校は40%であった。

■ 本校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

- 授業規律は確保できており、落ち着いた環境で授業に取り組むことができる。スクールアドバイザー等からの専門的な指導や全校職員による相互授業参観・研究協議を随時行うなど能動的な研修をとおして、魅力ある授業づくりを行っている。また、放課後学習会を定期的実施しており、疑問点の解消や既習事項の定着等に役立てられている。
- 自己有用感の育成を目指し、これまでも肯定的な声掛け等の行動支援を行ってきたが、本年度は全体研修を行い、方法を工夫しながらさらに推進している。

令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（前期課程）

■ 種目別平均値	性別	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)	合計得点
	男子	18.38	17.38	37.04	37.33	40.77	9.51	143.23	19.77	54.16
	女子	16.85	15.77	36.83	35.02	31.07	9.87	130.27	13.25	51.09

結果概要

男子の結果は、握力・長座体前屈で大阪市・全国平均よりも上回っていた。上体起こし・反復横とび・20mシャトルラン・50m走・立ち幅とび・ソフトボール投げでは、大阪市・全国平均より下回っていた。体力合計点は大阪市より3ポイント、全国より2ポイント下回っていた。

女子の結果は、握力・ソフトボール投げで大阪市・全国平均よりも上回っていた。

長座体前屈・上体起こし・反復横とび・50m走では、大阪市・全国平均より下回っていた。体力合計点は大阪市より1ポイント、全国より3ポイント下回っていた。

■ 本校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を受け、日常の体育の授業での運動時間の確保に努め、縄跳びタイムかけあしタイムなど体力づくりの取組みを充実させる。課題のある50m走の改善には、後期課程陸上部の支援も受け、走り方教室等開催し、記録向上をめざす。

令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（後期課程）

■ 種目別平均値	性別	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ハンドボール投げ(m)	合計得点
	男子	29.00	27.00	43.82	53.08	78.56	7.96	193.13	19.47	42.72
	女子	22.35	19.74	37.29	45.09	49.06	8.94	158.76	12.56	44.08

結果概要

男子の結果は、上体起こし、反復横とび、50m走において大阪市・全国平均を上回っていた。また、体力合計点において、全国平均より1ポイント、大阪市平均より2ポイント上回っていた。

女子の結果は、ハンドボール投げ、50m走において大阪市・全国平均を上回っていた。また、体力合計点において、全国平均より3ポイント、大阪市平均より2ポイント下回っていた。

■ 本校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

保健体育科の授業や、体育的行事、運動部活動などをおして、体力・運動能力の向上を図る。また、運動を継続的・習慣的に行うことの重要性について理解を深める。

卒業後の主な進路（後期課程のみ）

■ 過去3年間の卒業生数	令和5年度	74	令和4年度	77	令和3年度	81
--------------	-------	----	-------	----	-------	----

【大阪府下の府立高校】東住吉総合(13)、成城(9)、大阪わかば(勝山・桃谷)(7)、東住吉(6)、布施工科(5)、大阪府教育センター附属(4)、西成(4)、花園(4)、阪南(4)、港(4)、阿倍野(3)、住吉(3)、天王寺(3)、桃谷(通信制・定時制夜間)(3)、夕陽丘(3)、今宮工科(2)、枚岡樟風(2)、茨田(2)、生野、市岡、清水谷、泉陽、東淀川、福井、布施、布施北、三国丘、八尾、八尾北

【大阪府下の旧大阪市立高校(現在は府立高校)】生野工業(6)、汎愛(5)、大阪ビジネスフロンティア(4)、工芸(3)、都島工業(3)、水都国際(2)、咲くやこの花、住吉商業、第二工芸、東、淀商業

【大阪府下の私立高校】興國(13)、近畿大学附属(6)、あべの翔

学(5)、大阪夕陽丘学園(5)、金光藤蔭(5)、阪南大学(5)、上宮(3)、大阪偕星学園(3)、明浄学院(3)、桃山学院(3)、大阪商業大学(2)、大阪女学院(2)、建国(2)、好文学園女子(2)、常翔学園(2)、プール学院(2)、追手門学院大手前、大阪、大阪学芸、大阪体育大学浪商、大阪桐蔭、香ヶ丘リベルテ、関西大学第一、金蘭会、四天王寺東、精華、星翔、清風南海、清明学院、天王寺学館、長尾谷、東大阪大学敬愛、箕面学園、ルネサンス大阪

【その他(他府県等)の高校】近大豊岡、蒼開、浜松修学舎、ルネサンス、青山、佐賀清和、熊本国府、寒川

「特色ある学習活動」 および 「家庭・地域等との連携」

特色ある学習活動等

■ 学校教育目標・めざす子ども像

9年間で未来への夢を語れる子どもを育てる学校

- 一人一人が、将来に、なりたい自分やあこがれる自分をみつけ、自律して学習に取り組み、学ぶことの楽しさを実感できる学校
- 児童、教職員、地域・保護者がそれぞれ心通わせ、思いやり、親切にふれあい、信頼で結ばれる学校
- 安全で落ち着いた情緒やゆとりの感じられる学校。機能的に使い込まれ、よく手入れされている学校

特色ある学習活動等

■ IKUNO未来科

『IKUNO未来科』では、生野区にある企業や町工場等の地域の教育資源を有効活用して未来を生き抜くチカラを育てます。様々な地元企業・モノづくりの匠への聞き取りや商店街での起業体験、職場体験等の具体的な体験活動を充実させ、働く人と出会い、働く人の情熱に触れ、課題にチャレンジしていきます。また、『IKUNO未来科』の取組とともに各教科等で基礎的・汎用的能力※1を育みながら、9年間を通して子どもたちのキャリアの育成に取組み、生野のまちに誇りをもって社会に羽ばたいていく子どもを育てます。

※1 人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力



特色ある学習活動等

■ 特色ある教育活動

集団づくりでは、子どもたちの自信とやる気を育てるために学校全体でポジティブな行動支援に取り組んでいます。こんな自分になりたいという願いを形にするために子どもの社会性と主体性を育みます。また、9学年と一緒に学校生活を送るメリットを生かしてペア学年やたて割り活動等、異学年交流に取り組んでいます。その際、なかまづくりの手法として、ピア・サポート活動を取り入れ、互いに信頼し支え合う心を育みます。学習面では5年生からの一部教科担任制や小中の教員による乗り入れ授業など、一つの学校であるメリットを生かし、子どもたち一人一人にきめ細やかに対応していきます。



特色ある学習活動等

■ 9年間を通して子どもを育てる 4-3-2制

本校では教職員が一体となり、9年間を通して子どもたちを育てていきます。そのため9年間を図のように3つのステージに分けて、子どもたちの発達段階に応じた形で学校教育・学校行事を行います。

義務教育9年間を通して子どもを育てる【4-3-2制】									
ステージ	ファースト・ステージ（ホップ期）				セカンド・ステージ（ステップ期）			サード・ステージ（ジャンプ期）	
学年	1年（小1）	2年（小2）	3年（小3）	4年（小4）	5年（小5）	6年（小6）	7年（中1）	8年（中2）	9年（中3）
儀式的行事	入学式			※節目行事		※前期課程修了式	※節目行事		卒業式
泊行事					林間学校		二泊移住		修学旅行
授業	学級担任制				一部教科担任制		教科担任制		
	45分授業				50分授業				
標準服	前期課程（小学校課程）用				移行期		後期課程（中学校課程）用		
※教育課程	前期課程（小学校課程）						後期課程（中学校課程）		
学び	『楽しむ』				『深める』			『拓く』	
	●生活から学びへ・読書習慣の定着				●基礎的基本的な学習内容の定着			●将来の目標をもって学習に取り組む	
	●なかよく・協力して				●一人ひとりの良さを見つけ認める			●他を尊重しより良い人間関係の構築	
	●早寝早起き朝ごはん・運動を楽しむ				●体力の向上・安全への理解			●保健・食に関する意識の向上	
	☆IKUNO 未来科（教科横断的 独自教科）								

校長先生のメッセージ

義務教育学校生野未来学園は、林寺小学校、生野小学校、舎利寺小学校、西生野小学校、生野中学校が再編されて新しく生まれ変わった学校です。前期課程での子どもたちの成長と成果や課題を区切りなく、後期課程へ引き継ぎ、教育活動を行っていただけることに大きな可能性を感じています。「生野未来学園」という名前の通り、9年間で大きな「未来」を創造していけることに私たちはわくわくしています。

大阪市初の義務教育学校であり、これからの未来に大いなる可能性を含んだ学校です。小学校、中学校が一体となった教職員と児童生徒、そして保護者・地域の皆様と一緒に「愛される」「誇れる」学校にしていきます。



運営に関する計画

■ 計画のエッセンス

大阪市全体の課題である学力の向上はもちろんのこと「教科横断的な視点をもった教育活動」「教育課程の編成」「地域と連携、教育に必要な人材、資源の発掘」に視点を於いたカリキュラム・マネジメントの確立が課題。この2点を中心に大阪市教育振興基本計画のもと取り組みを進める。

■ 中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】

- 学力経年調査及び校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童・生徒の割合を90%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童・生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度の不登校児童・生徒の改善の割合を増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 学力経年調査及び校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童・生徒の割合を60%以上にする。
- 小学校学力経年及び調査中学生チャレンジテストにおける国語および算数・数学の平均正答率の対全国比・対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。《前期課程》
- 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を25%以上にする。《後期課程》
- 学力経年調査及び校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- デジタル教材を活用した朝学習を週3回実施する。
- 学習者用端末を活用した家庭学習を週3回実施する。
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を50%以上にする。